

伊東二郎 いとう じろう エスパーント運動・農民運動家。明治二十五年十一月十一日岡山縣生れ、昭和四十四年二月七日歿（九二一歳）。舊姓磯崎、本名宮崎巖。筆名伊井江、伊井江老人、野口樹々、高木弘（大島義夫共同）、J.J.等。大阪外國語學校佛語科中退。大正十四年エスペラント青年同盟を興じ、昭和五年日本共產黨に入黨。翌五年黨農民部長と、七年以降屢々検挙、下獄。戦後熊本縣農村青年連盟を組織。

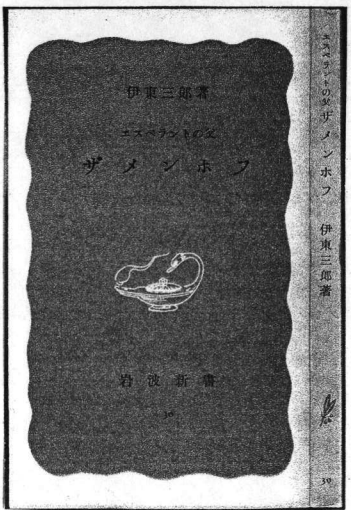
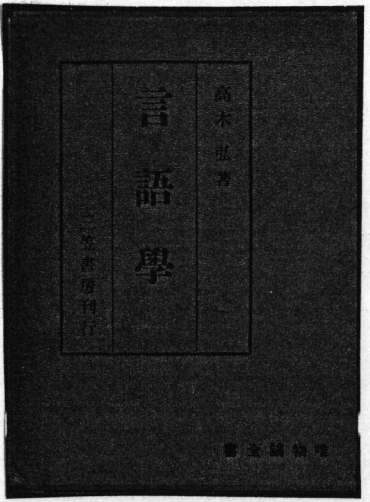
著書『日本エスペラント學事始』伊井江氏談論集』（武藤丸楠編、

昭和七年二月、二十五年鐵塔書院）、E

・スピリドヴェイツ著『言語學と國際語』（高木弘名、井上英一共譯、昭和七年九月、二十五年日本エスペラント學會

「國際語論集」）、コエス・ペラント文

藝讀本、第六輯（北歐篇）』（同、昭和十一年八月十五日日本エス



ラント學會）、『言語學』（同、昭和十一年八月、二十五年書房「唯物論全書」）、コエス・ペラントの父「ザメンホフ」（昭和二十五年四月十日岩波書店「岩波新書」）、コトツムの歴史』（昭

和二十七年八月、二十五年中央公論社「とちがちシリーズ」等。